

# 漫画家 森薫と 入江亜季展

Manga artists MORI KAORU and IRIE AXI Exhibition  
The World of Intricate Paintings Created with Pens



精巧なペンづかいで描かれた緻密なる世界——

同時期にデビューし同じ雑誌で連載を重ね、ともに成長してきた漫画家・森薫と入江亜季。アナログの手描きにこだわりつづける二人が生み出す絵は、極めて繊細な線で描かれながら、ペン先の力強い息づかいを感じる者に伝えます。ビクトリア時代の身分を越えた恋物語を描いた『エマ』、細部まで書きこまれた中央アジアの風物と美しい花嫁たちが登場する『乙嫁語り』。キラキラと輝く魔法と少女の成長を描いた『乱と灰色の世界』、

アイスランドの大自然のなかで消えた弟の行方を探る『北北西に曇と往け』。美しい線画と華麗なコマ割りやセリフが織りなす彼はドラマティックでファンタスティックな物語へと読者を誘います。本展では400点以上もの迫力の原画とともに、同人誌時代の作品やイラストレーション作品、机周りの品々や創作メモ、取材の様子など執筆の現場も紹介。物語の世界はもちろん、一枚の原稿がうまれる過程までご紹介します。漫画家と、その漫画がもつ情熱をぜひ体感してください。



森薫 (もり・かおる)

東京都生まれ。高校時代より同人活動を開始。2001年『エマ』にてデビュー。2005年、同作が文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞。現在『青騎士』にて連載中の『乙嫁語り』で2012年、アングレーム国際漫画祭世代別賞を受賞。ヤドカリ・ファンシーラット・猫・カクタムリを飼育中。これから飼いたいのはリクガメ。



入江亜季 (いりえ・あき)

香川県生まれ。高校時代より同人活動を開始。2004年読切作品『アルベルティーナ』でデビュー。2005年『新書学会』発表。2008年、『フェローズ』にて『乱と灰色の世界』連載開始。2012年、同作が文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞作品に選出。現在『青騎士』にて『北北西に曇と往け』を連載中。作中に登場するジム・ニーJA11と同型の中古車を購入している。

①森薫『エマ』7巻原稿 / ②入江亜季『北北西に曇と往け』4巻原稿 / ③森薫『乙嫁語り』& 入江亜季『乱と灰色の世界』合作 / ④森薫『乙嫁語り』第10話『布衣文』 / ⑤入江亜季『北北西に曇と往け』第14話『金の 嵐の 泉』  
表紙：本展編者下ろし ©Kaoru Mori ©Aki Irie ©KADOKAWA CORPORATION

## 観覧券チケット

オンラインチケットサイト <https://e-tix.jp/setabun/>

※観覧料(当日券・オンラインチケット共通) ※本館でのご予約は受け付けておりません。

一般	1,000(800)円
65歳以上・大学・高校生	600(480)円
小・中学生	300(240)円
障害者手帳をお持ちの方	500円(ただし大学生以下は無料)

※口は団体割引・セタダヤアワード割引あり ※11/8(金)は65歳以上の方は入場無料、11/16(土)、17(日)はセタブンマーケット開催につき入場無料

## 観覧券グッズ

世田谷文学館限定グッズ  
「森薫&入江亜季」  
オリジナル缶入りクッキー

このほか観覧券オリジナル  
グッズも多数販売予定!



## 関連イベント

関連イベントの詳細は当館公式HPにて順次お知らせします。

展覧会の開催および内容が変更される場合や中止になる場合があります。ご来館前に当館HPをご確認ください。

世田谷文学館公式HP [www.setabun.or.jp](http://www.setabun.or.jp)

【同時開催コレクション展】寺山修司展 一世田谷文学館コレクションにみる—  
2024年10月5日(土)~2025年3月30日(日)

【次企画展】『土郎正宗の世界展』(仮称) 2025年 春開催予定

※交通案内

- ・京王線「芦花公園」駅南口より徒歩5分
- ・小田急線「千歳船橋」駅より京王バス利用(千歳鳥山駅行)
- 「芦花公園」下車徒歩5分

※世田谷文学館

157-0062 東京都世田谷区南鳥山1-10-10  
TEL 03-5374-9111 FAX 03-5374-9120

Access: 5-minute walk from Roka-koen Station's South Exit (Keio Line)  
5-minute walk from Roka Koshun-en  
(take Keio Bus from Chitose-Funabashi Station  
[Odakyu Line] towards Chitose-Karasuyama Station [Keio Line])

Setagaya Literary Museum  
1-10-10 Minami Karasuyama, Setagaya-ku, Tokyo 157-0062

